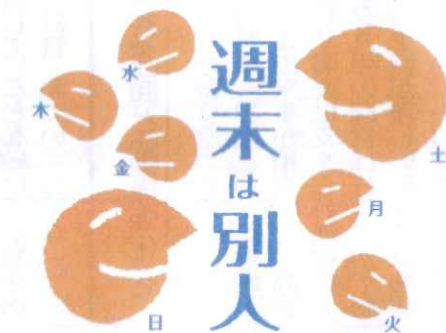


# ウイークエンド



78年に愛知県立芸術大  
 ◇ 80年に愛知県立芸術大を卒業後、教師になった。美術教師をしていた1987年から、一貫してDNA(デオキシリボ核酸)をメインテーマにした作品を制作している。2017年11月には23回目の個展を名古屋・栄の画廊で開いた。美術教師から中小製造業の社長へと立場は変わったが作品を作り続けている。ある意味、私の本業だ。

学を卒業後、教師になった。創作活動を続けたいと思い、そのためには定職に就いたほうが良いと考えた。愛知県内の中学校に赴任したが、野球部のコーチになった。練習や試合に時間を取られ、創作活動を続けられなくなった。監督も務めた野球部の約10年間で、美術部の顧問になり、創作活動を再開できた。その証と



熱田起業社長 矢野 照明氏

## 個展を開いて30年

して、個展を開くことにした。最初の10年間以上は、毎年開き続けた。09年に妻の実家の熱田起業を継ぐことになり、起業を退職。中小企業の教師を退職。中小企業の世界に飛び込んだ。航空機の部品を生産する会社で、戦後初の国産旅客機「YS11」に部品を納めたこともある。当初は何もわからず、苦勞の連続だった。10年に社長に就いた。

両立は難しいが、創作活動を続けることにした。大学時代の恩師に教師を辞めると伝えたと、環境が変わること、作品に良い影響がある。続けなさい」と助言をいただいた。

今回の個展は、前回から2年ぶりだ。この間に作り上げた作品を展示した。最近はこのペースで開いている。今回のテーマは「file」。ファイルの語源はラテン語の糸、英語では「とじること」と「記録」「資料」のほか、「縦列」の意味もある。DNAに通じる。

第1回からDNAをメインテーマに、個展のたびに表現方法を変え、視点を捉え直してきた。今回は和紙を支持体に、アクリル、岩絵の具、金箔のミクストメディアにした。10日間の会期中には、教師時代の教え子たちが見に来てくれた。このことも励みになっていた。

(名古屋市中川区福船町4の1の1)

▲ DNAをテーマにした作品を一貫して制作している(17年11月の個展)

記念

# セミナー2018

セッション

2017年12月14日(木)

基調講演



JFC 日本政策金融公庫

日本政策金融公庫  
代表取締役専務取締役  
中小企業事業本部 長

黒田 篤郎氏

特別講演



Metrol

株式会社メトロール  
代表取締役社長

松橋 卓司氏

東京都